



ふれあい 放水路

1996
(平成8年)
第32号
11月



新内藤川水門完成模型

新内藤川水門 いよいよ着工

十月二十四日、秋晴れの空の下、出雲市や大社町などの関係者の方々約四十名の出席のもと、斐伊川放水路事業に伴う新内藤川水門改築工事の起工式が、出雲市西園町の建設予定地内で行われました。

新しい水門は、神戸川の拡幅に伴って撤去される現在の水門(一文橋)の代わりに設置されます。洪水時には神戸川の逆流防止として機能し、新内藤川・午頭川の氾濫を防ぎます。

式典は、出雲工事事務所の長の式辞に始まり、来賓の方々の挨拶、出雲工事事務所による工事計画の説明の後、工事の安全を祈ってクワ入れが行われ、新内藤川水門改築工事の開始を告げました。

新内藤川水門は平成十一年度末に完成する予定です。



古志橋右岸に巨大構造物出現!!

～赤川付替工事のボックスカルバート～

今月は、古志橋右岸（塩冶町側）に建設中の“巨大ボックスカルバート”について紹介します。

このボックスカルバートは、将来、古志橋の取付け道路の盛土の下となる市道と塩冶赤川を通すための構造物で、古志橋の四車線化をにらんで、68mもの長さで造っています。塩冶赤川と市道を通すため、幅も約15mあり、敷地面積はちょっとしたビルディング並の大きさがあります。

1月末頃には出来上がる予定ですが、市道として使われるのは、古志橋完成後になる予定です。

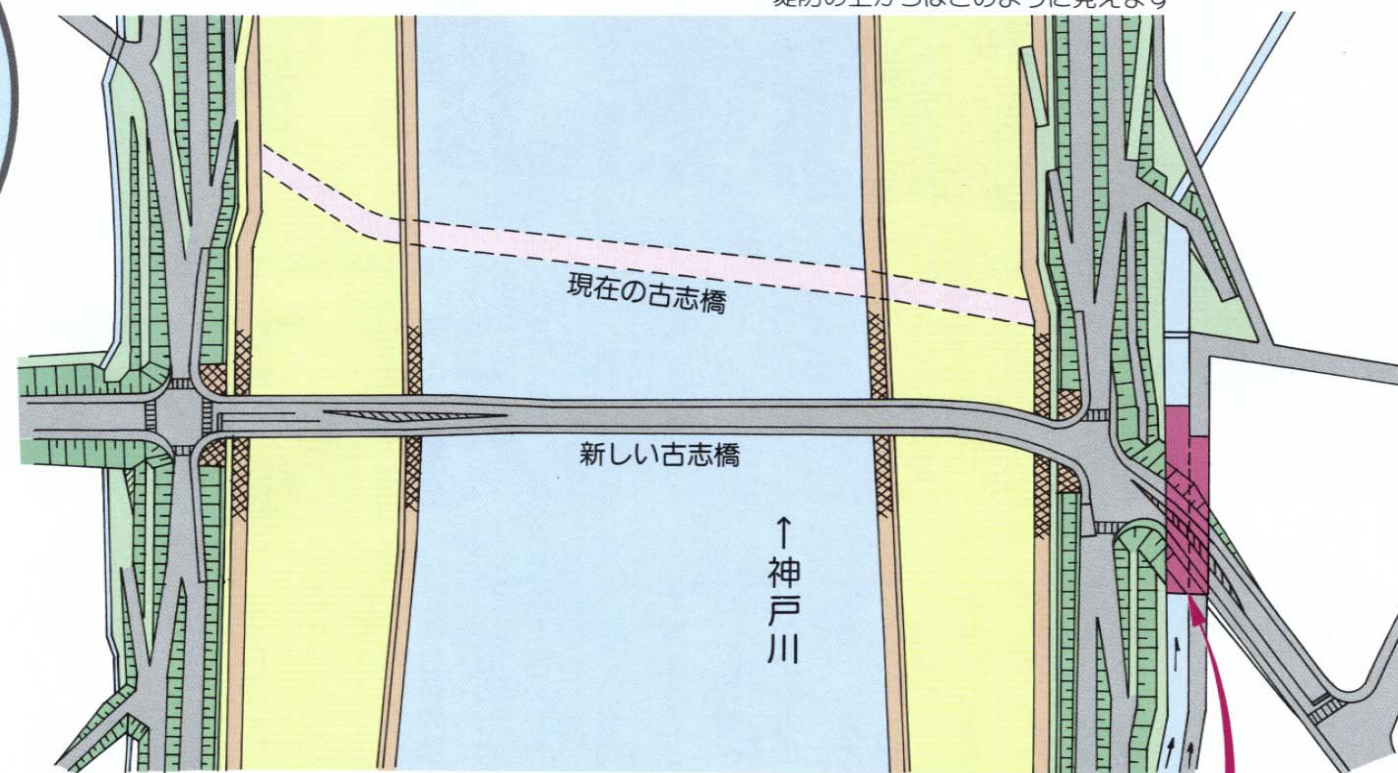


出雲工事事務所と比較してみると...

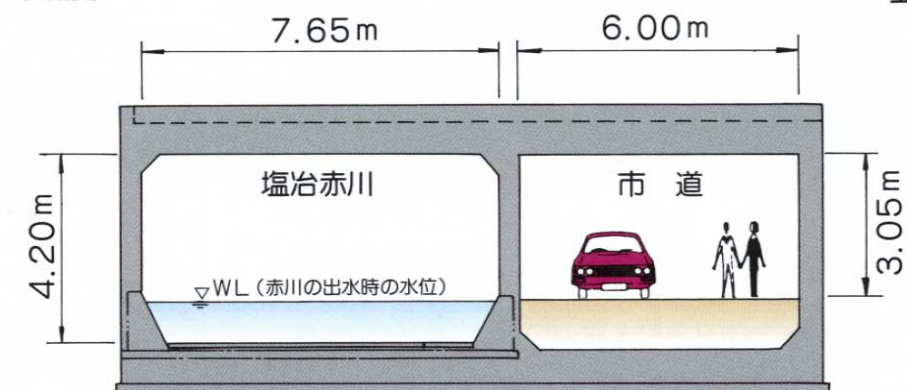
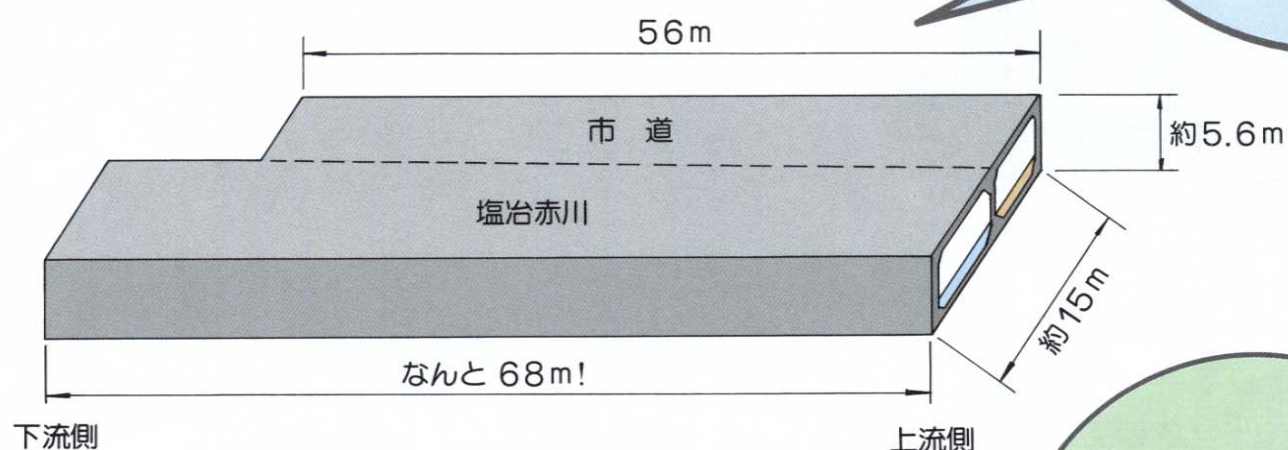


高さは出雲工事事務所の約半分になります。事務所を見ていただければ、ボックスカルバートの大きさがイメージできるのではないのでしょうか。（事務所は出雲市民会館の近くにあり、高い鉄塔が目印です。）

道路	法面(斜面)
護岸	コンクリート平場
川	平場

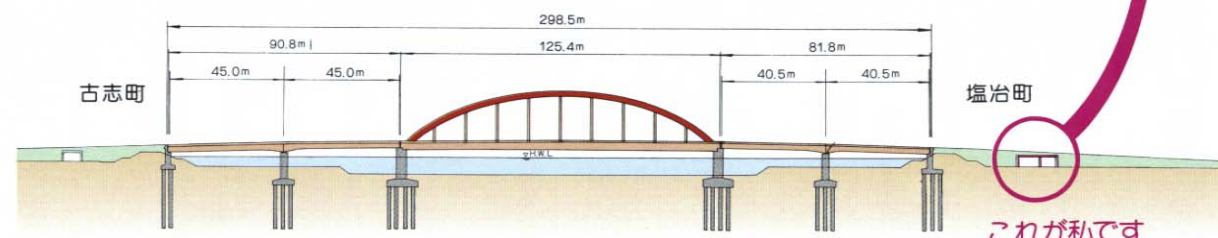


堤防の上からはこのように見えます



ボックスカルバートに使われるコンクリートは約2350㎡で、街で見かける生コン車約520台分にもなります。

新しい古志橋



これが私です

ふれあい
放水路
通信

街に緑と花を

ふれあい花壇植栽式

建設省では、昭和五十年から毎年十月を「都市緑化月間」と定め、緑地を保全し、緑豊かなまちづくりを推進するための活動を行っています。今年度のその行事の一環として、出雲工事事務所では、出雲市古志町の古志橋右岸側の放水路事業予定地を利用して、十月二十一日に「ふれあい花壇植栽式」を行いました。

西尾出雲市長をはじめ、地元の方々や古志幼稚園の園児のみならず、約百二十名の方に参加していただき、花壇にパンジーとキンギョウウの苗を植え付けました。園児たちも植え方を教えてもらいながら、楽しそうに苗を植えていました。

この日は花壇への植栽だけでしたが、今後、この周り約六〇〇㎡に花の種を蒔く予定です。来年の春にはこの場所が一面花畑になり、みなさんの目を楽しませてくれることになると思います。お楽しみに！



B谷地区工事

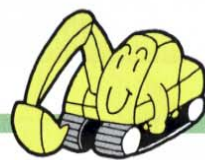
安全祈願祭

本年度より、斐伊川放水路事業の残土処理場となる谷の一つであるB谷（狐廻谷）の工事に本格着手します。十一月一日には、出雲市上塩冶町の事業用地内で、工事関係者や地元の方々の出席のもと、安全祈願祭が行われました。

これからB谷では、掘削、雨水を一時貯留するための防災調整池、開削部の土砂を運搬するための工事用道路、資機材運搬のためのパイロット道路の工事を進めていきます。



斐伊川放水路の工事実施状況



工事名	業者名	工期
上流部用地管理その2工事	今岡工業(株)	自 H8年10月22日 至 H9年3月31日
境島地区他試験盛土工事	(株)都間土建	自 H8年11月7日 至 H9年3月31日
古志橋下部工事	不動建設(株)	自 H8年11月7日 至 H9年7月30日
塩冶218号道路工事	(株)常松土建	自 H8年11月13日 至 H9年3月31日



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当